

くれしんレポート

平成24年度上期の業況について

2012.4.1 ▶ 9.30



平成24年度上期 事業の概要

当地域経済は、一部において東日本大震災の復興需要の効果がみられましたが、長引く円高や欧州債務問題、中国リスクといった不安要素などの影響により依然として厳しい経営環境が続いています。

こうした中、当金庫は、法人・個人事業者のお客さまに対し、ビジネス情報の提供や経営上の課題解決などの「仕事ふやし・仕事づくり」につながる提案を、また、個人のお客さまにはライフステージにあわせた金融サービスの提供を「手間と心」を込めて取組んでまいりました。

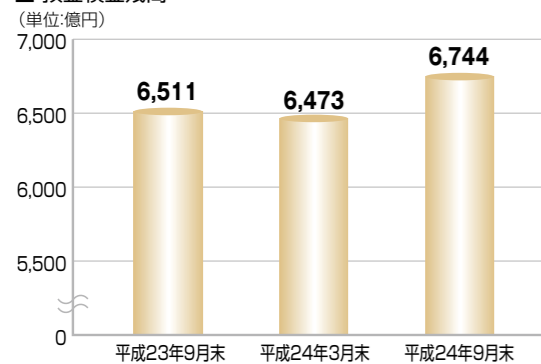
この間、業績は、預金積金・預り資産残高の合計額は期中291億円増加（4%増）し、貸出金残高は期中34億円の減少（0.9%減）となりました。

■ 預金積金

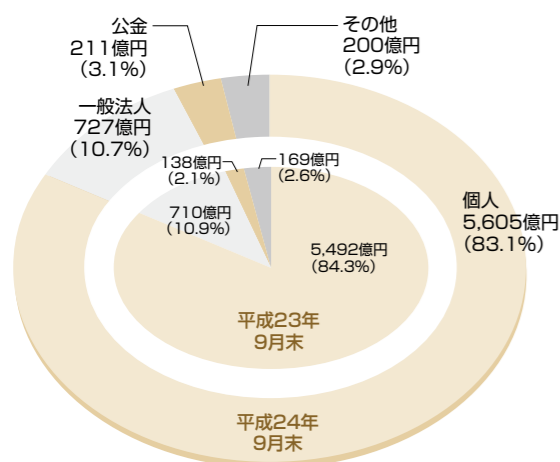
預金金利が依然として低水準で推移する中、お客様の金利メリットやニーズにお応えするため、前年度好評を得た「テレバンク付き定期預金“清盛”」の販売延長をはじめ「平清盛日引き懸賞金付き定期預金」「くれしん特別金利定期預金1・2・GO」「しんさん傷害保険付定期積金“さすな積金”」を販売しました。また、シルバー世代へも退職金専用定期預金や年金優遇定期預金を積極的に販売し、地域に密着した営業活動に努めてまいりました。

その結果、預金積金は期中270億円増加し、9月末残高は6,744億円となりました。

■ 預金積金残高



■ 預金者別預金構成比

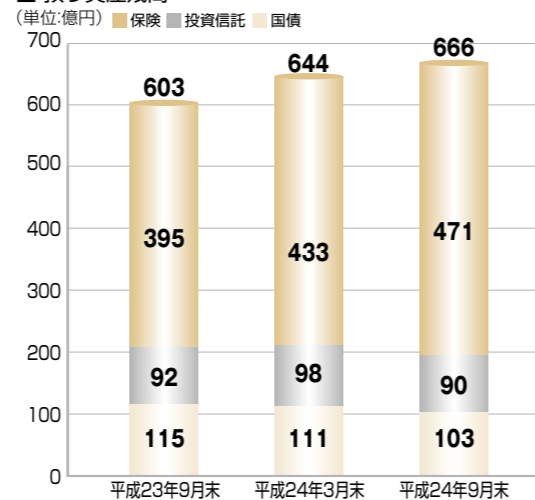


■ 預り資産

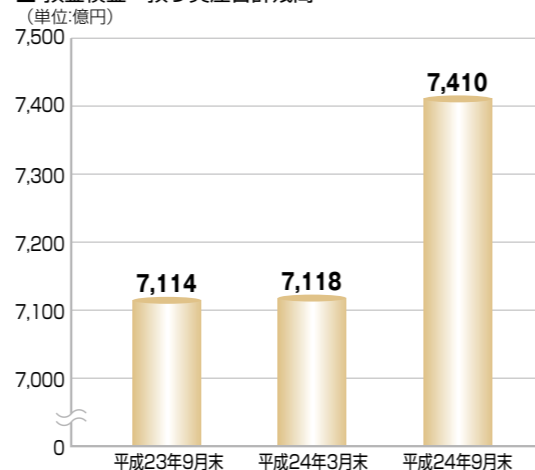
お客様のライフステージに合わせた金融資産形成・運用をお手伝いするため、投資信託や保険商品の品揃えを充実するとともに、営業店での資産運用セミナー開催など、積極的な営業活動を行った結果、預り資産は期中21億円増加し、9月末残高は666億円となりました。

また、今年度4月よりお客様によりきめ細かいサービスを行うため、25名のマネーアドバイザーを営業店に配置しています。

■ 預り資産残高



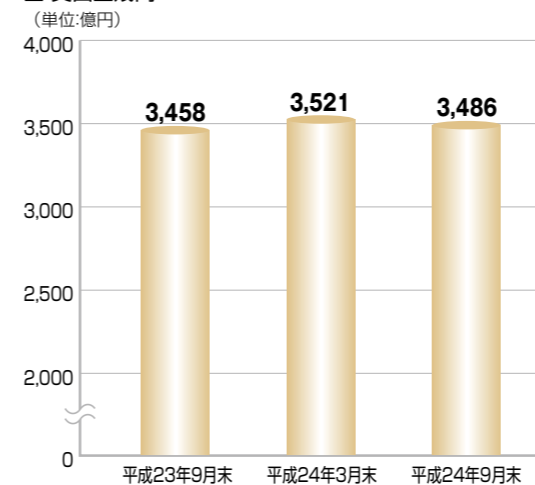
■ 預金積金・預り資産合計残高



■ 貸出金

地域の「仕事ふやし・仕事づくり」の具現化と地域活性化のサポートに向けて、「手間と心」のこもった金融サービスの提供に徹し、法人・個人事業者のお客さまには、当金庫の組織力と地域力を活かしたビジネスマッチングの推進とコンサルティング機能を発揮した経営課題の解決に取り組まれました。また、個人のお客さまには、ライフサイクルに応じた金融サービスの提供により、生涯取引の実現と健全な資産形成の構築および生活設計のサポートに取り組んでまいりました。しかしながら、長引く円高の影響等により資金需要が低迷したことから、貸出金は期中34億円減少し、9月末残高は3,486億円となりました。

■ 貸出金残高

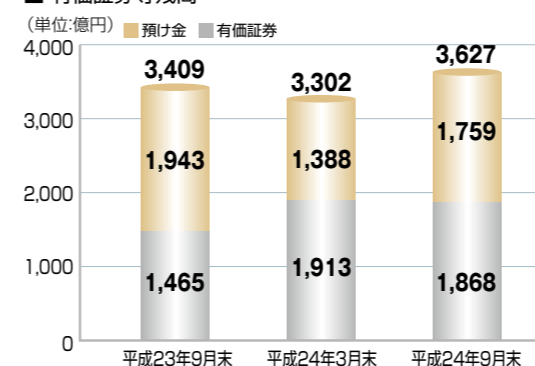


■ 有価証券等

お客様からお預かりしている資金の一部は、安全性を重視し、比較的风险の低い国内債券を中心とした有価証券および信金中央金庫（信用金庫の中央機関）への預け金で運用しています。

9月末の有価証券と預け金の合計額は、期中325

■ 有価証券等残高



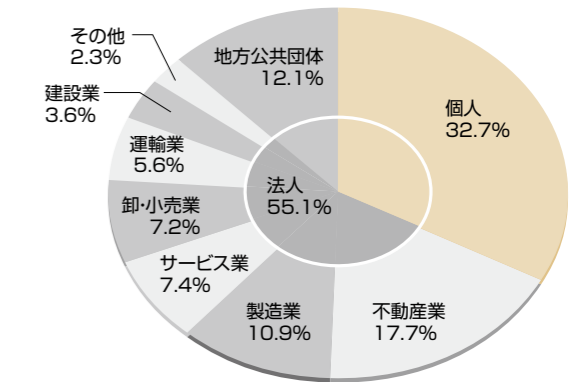
(注) 有価証券残高は、その他有価証券が時価、満期保有目的の債券および子会社・関連会社株式は取得価額で計上することとなっています。

■ 貸出金業種別残高内訳

(単位：億円)

業種	平成23年9月末	平成24年3月末	平成24年9月末
製造業	382	378	380
卸・小売業	274	260	253
運輸業	174	189	197
サービス業	276	270	260
建設業	141	138	127
不動産業	635	653	618
その他	63	86	83
地方公共団体	327	382	422
個人	1,184	1,160	1,142
合計	3,458	3,521	3,486

■ 貸出金業種別残高構成比 (平成24年9月末)



億円増加し、3,627億円となりました。

また、有価証券全体の評価損益は、市場金利の低下により債券の時価が上昇したことから、前期末比61百万円増加し、17億円の含み益となっています。

■ 有価証券の時価情報 (平成24年9月末)

(単位：百万円)

	取得価額 (A)	時価 (B)	評価損益 (B) - (A)
その他有価証券	181,866	183,649	1,782
株式	4,080	3,371	△709
債券	175,083	177,982	2,899
その他	2,702	2,295	△406
満期保有目的の債券	3,158	3,152	△5
子会社・関連会社株式	41	41	—
合計	185,065	186,843	1,777

■ 不良債権の状況

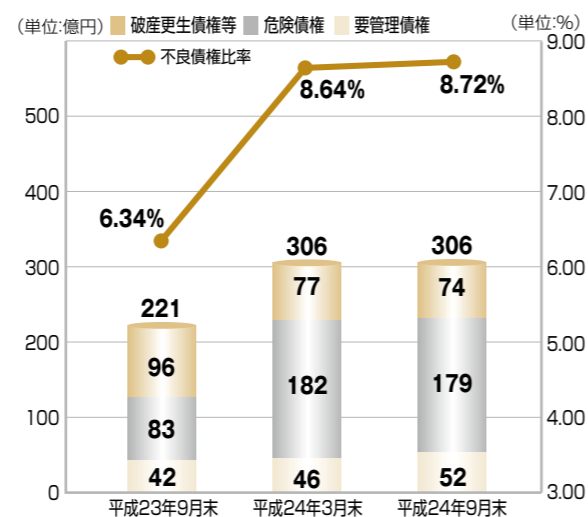
お取引先に金融の円滑化への対応を進めるとともに、不良債権の削減に向けて計画的な回収と経営改善への取り組みを行いました。しかしながら、24年度上期末の不良債権（金融再生法ベース）の合計額は306億円と、景気回復が不透明な状況からランクアップは捗らず、24年3月末比横ばいで推移、不良債権比率は8.72%（期中0.08ポイント増）となりました。

なお、不良債権のうち、82.23%は貸倒引当金や担保・保証等によって保全されており、残りの54億円は、自己資本（364億円）により、十分カバーされております。

■ 金融再生法開示債権 (単位：億円)

区分	平成23年9月末	平成24年3月末	平成24年9月末
破産更生債権等 (A)	96	77	74
危険債権 (B)	83	182	179
要管理債権 (C)	42	46	52
上記合計額 (D) = (A) + (B) + (C)	221	306	306
正常債権 (E)	3,267	3,242	3,206
合計額 (F) = (D) + (E)	3,488	3,549	3,512

■ 不良債権額（金融再生法に基づく開示額）・不良債権比率



■ 保全率・不良債権比率 (単位：億円)

区分	平成23年9月末	平成24年3月末	平成24年9月末
不良債権額 (A)	221	306	306
保全額 (B)	178	249	251
保全率 (B) ÷ (A)	80.67%	81.30%	82.23%
総与信 (C)	3,488	3,549	3,512
不良債権比率 (A) ÷ (C)	6.34%	8.64%	8.72%

(注) 総与信 = 正常債権 + 不良債権

■ 損益の状況

経常収益は68億6百万円と、貸出残高の減少と市場金利低下により、貸出金利息、有価証券利息配当金など、資金運用収益の減収（前年同期比4億73百万円減）を主因に、債券売却益の減少、貸倒引当金の戻入もなかったことから、前年同期比9億28百万円の減収となりました。

経常費用は、経費削減を実施したものの、不良債権処理費用や株式売却損の増加などから、62億71百万円と、前年同期比5億60百万円の増加となりました。

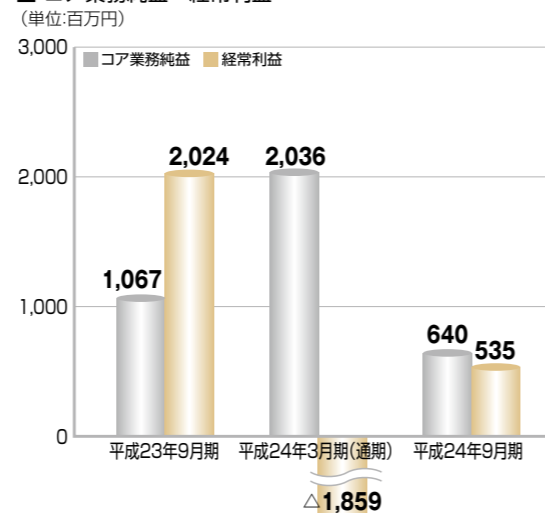
この結果、経常利益は5億35百万円と前年同期比14億88百万円の減益、当期純利益は、3億33百万円と前年同期比10億8百万円の減益となりました。

なお、コア業務純益は、6億40百万円と、前年同期比4億26百万円の減益となりました。

■ 経常収益 (単位：百万円)

区分	平成23年9月期	平成24年3月期 (通期)	平成24年9月期
経常収益	7,734	13,791	6,806

■ コア業務純益・経常利益



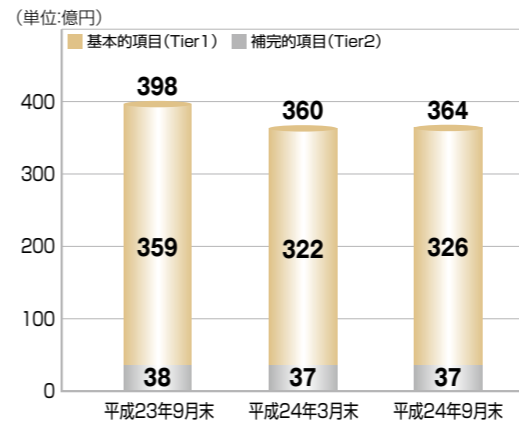
(注) コア業務純益とは、金融機関固有の収益指標である業務純益から国債等債券損益と一般貸倒引当金繰入額を控除したもので、信用金庫本来の事業活動のみの利益を示す指標です。

■ 自己資本比率（単体）の状況（概算値）

(1) 自己資本額

24年度上期末の自己資本額（暫定値）は364億円と、24年3月末比4億円増加しました。

■ 自己資本額（概算値）



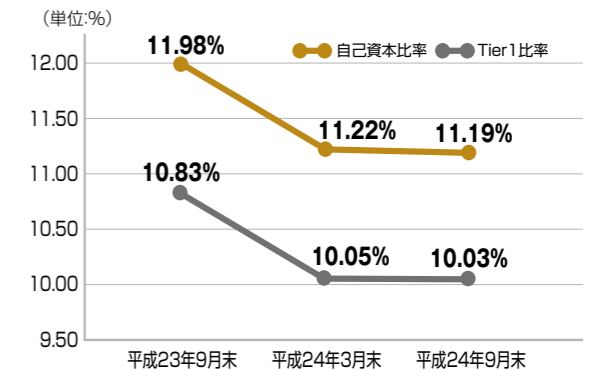
(注) 1. 信用金庫では正式な中間決算を行っていないので、自己資本額は概算値となります。
2. Tier 1とは、自己資本額のうち出資金や特別積立金等の基本的項目のことをいいます。

(2) 自己資本比率

自己資本比率は、11.19%とリスク・アセットが期中48億円増加したため、24年3月末比0.03ポイント低下しました。

また、Tier I 比率も期中0.02ポイント低下し、10.03%となりました。

■ 自己資本比率・Tier 1比率（概算値）



(注) 自己資本比率算出にあたり、貸出金の信用リスク・アセットについては、当金庫の定めにより概算値にて算出しています。また、オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額は平成24年3月期の計数を使用しています。そのために自己資本比率は概算値となっています。

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	平成23年9月末	平成24年9月末
《資産の部》		
現金	6,079	6,175
預け金	194,396	175,928
コールローン	767	355
金銭の信託	500	500
有価証券	146,505	186,848
貸出金	345,819	348,639
外国為替	257	719
その他資産	4,562	4,542
有形固定資産	9,863	9,711
無形固定資産	353	417
繰延税金資産	3,616	3,165
債務保証見返	1,695	1,272
貸倒引当金	△10,823	△15,192
資産の部合計	703,593	723,084
《負債の部》		
預金積金	651,101	674,450
借入金	5,433	5,098
その他負債	2,854	2,491
賞与引当金	440	424
退職給付引当金	1,092	1,067
役員退職慰労引当金	243	275
睡眠預金払戻損失引当金	148	116
再評価に係る繰延税金負債	1,244	1,102
債務保証	1,695	1,272
負債の部合計	664,254	686,299
《純資産の部》		
出資金	2,541	2,702
利益剰余金	33,458	29,992
処分未済持分	△0	△0
会員勘定合計	35,999	32,695
その他有価証券評価差額金	643	1,271
土地再評価差額金	2,695	2,817
評価換算差額等合計	3,339	4,089
純資産の部合計	39,338	36,784
負債及び純資産の部合計	703,593	723,084

損益計算書

(単位：百万円)

科目	平成23年9月期	平成24年9月期
経常収益	7,734	6,806
資金運用収益	5,621	5,148
(うち貸出金利息)	4,216	3,944
(うち預け金利息)	317	259
(うち有価証券利息配当金)	1,031	889
役員取引等収益	683	636
その他業務収益	1,095	824
その他経常収益	334	196
経常費用	5,710	6,271
資金調達費用	471	455
(うち預金積金利息)	428	424
役員取引等費用	409	423
その他業務費用	139	7
経常費用	4,336	4,268
その他経常費用	353	1,116
経常利益	2,024	535
特別損失	0	1
税引前当期純利益	2,023	533
法人税、住民税及び事業税	665	167
法人税等調整額	15	33
当期純利益	1,342	333

(注) 信用金庫においては中間決算が義務づけられていないため、記載金額は、本決算に準じて算定していますが、一部の項目について簡素化して記載しています。

本紙に掲載している計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

- 4月**
 - 「くれしん育英会」奨学生10名採用〔3日〕
 - 第55回呉みなと祭パレード参加〔29日〕
- 5月**
 - 第21回くれしんゲートボール大会開催〔9日〕
 - 第13回くれしんトップセミナー開催〔18日〕
 - 減塩サミットin呉2012 協賛〔26・27日〕
- 6月**
 - 第87期通常総代会開催〔15日〕
 - 第12回地域活性化支援制度「グッドラック」助成先決定〔21日〕（公益社団法人アクティブベースくれ）
- 7月**
 - 第17回くれしんママさんバレーボール大会開催〔7・8日〕
- 8月**
 - 海外留学生を対象とした「もっと知って呉ツアー」実施〔8・11日〕
 - 中学生職場体験「キャリア・スタート・ウィーク」実施〔20～24日〕
- 9月**
 - 高屋支店移転1周年記念特別絵画展「こころで観た世界」開催〔1～30日〕
 - インターンシップ研修生受け入れ〔3～7日〕
 - 第18回くれしん少年サッカー大会開催〔8・9日〕



減塩サミットin呉



高屋支店移転1周年記念特別絵画展

地域活動への取組み

第55回呉みなと祭

4月29日、第55回呉みなと祭が開催され、今年は「アグレッシブくれしん」の横断幕を先頭に、それいけ!アンパンマンの花車や御輿でパレードに参加しました。



第12回地域活性化支援制度「グッドラック」助成先決定

6月21日、アクティブベースくれによる地域活性化支援制度「幸運(グッドラック)」の目録贈呈式が行われました。今回は16先の応募の中から8先を決定し総額750万円の助成をいたしました。



第17回くれしんママさんバレーボール大会

7月7日・8日、くれしんママさんバレーボール大会を開催しました。大会では、地域の部16チームとクラブの部25チーム、600名の選手による熱戦が繰り広げられました。



もっと知って呉ツアー

8月8日・11日、広島大学と交流のある台湾国立政治大学の大学院生及び広島大学INU学生セミナー参加者を対象に、大和ミュージアムや蘭島閣美術館など呉の魅力を紹介する「もっと知って呉ツアー」を開催しました。



第18回くれしん少年サッカー大会開催

9月8日・9日、くれしん少年サッカー大会を開催しました。大会では、呉市、竹原市、東広島市、江田島市、安芸郡坂町の24チーム、467名の選手による熱戦が繰り広げられました。



当金庫の概要

(平成24年9月30日現在)

■ 設立：大正14年9月

■ 店舗数：46店舗（うち3出張所）

■ 本店所在地：呉市本通2丁目2番15号

■ 店舗外ATMコーナー 38カ所 ■ 常勤従業員数：739名



呉信用金庫

TEL (0823) 24-1181 <http://www.kure-shinkin.jp/>

平成24年11月発行（本紙は再生紙を使用しています）